

第2学年 道徳科（人権）学習指導案

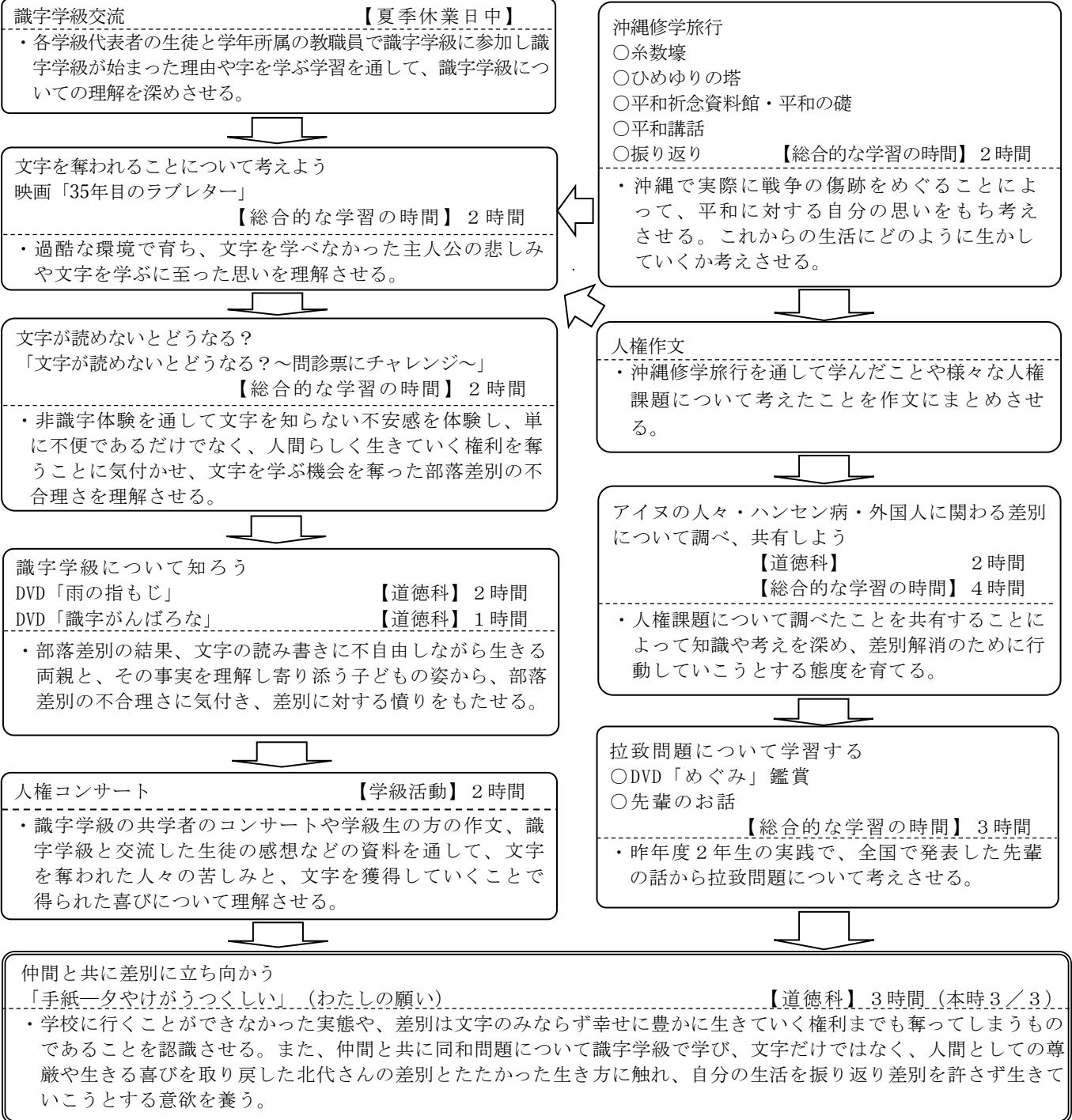
1 主題 仲間と共に差別に立ち向かう

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

人としての生き方そのものを奪う部落差別に憤りをもたせるとともに、差別に立ち向かい、自分の人生を切り開いた人々の生き方に学び、差別解消に向け仲間と共に主体的に行動しようとする態度を育てる。

4 指導計画



〈常時活動〉

明日への扉・とこチャレ	レクリエーション (毎週水曜日)
・日頃から具体的な目標をもち、実現に向けて努力することで自信をもてるようにする。	・レクリエーションを通して思いを伝え合う機会をもち、互いを尊重する集団をつくる。

5 本時の学習

(1) 目標

北代さんのたくましい生き方から、人として誇らしい生き方は何であることを理解し、自ら差別の解決に向け、行動しようとする意欲を高める。

ねらいとする道徳的価値	D - (22) よりよく生きる喜び
-------------	--------------------

(2) 普遍的な学習のテーマ 基本的人権の尊重

個別人権課題名

同和問題

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時までの学習を振り返る。	○これまでの学習や手紙の内容を振り返る。
2 北代さんにとって、文字を覚えるということは何を意味しているかを考え、発表する。	○今まで奪われてきた人間らしく生きる権利を、文字を覚えることにより、取り戻し、差別に立ち向かった北代さんの強さに共感させる。 ①
字を覚えた後で見た夕やけを本当に美しく思えたのはなぜだろう。	
3 なぜ北代さんは夕やけを本当に美しく思うようになったかを班で話し合い、発表する。	○すべての景色が新鮮で美しく見えるようになったことに気付かせる。 ○文字を取り戻すことで、生きていく喜びを手に入れた北代さんの気持ちに共感させる。 ③
4 北代さんの生き方から学んだことを、自分の生き方や生活にどのように生かしていくか考え、発表する。	○北代さんの差別に負けない生き方を、自分自身の生き方として、実践できるように考えさせる。 ○「自分がめざす誇らしい生き方」を、仲間と共に考えを共有し、発表できるように働きかける。 ○自分の生活の中でできることを一人一人に考えさせ、自分の生き方として発表させる。 ②③

(4) 評価

- ・差別に屈することなく、仲間と共に部落差別解消に向かうことが、人間として誇らしい生き方であることが理解できたか。 (知識的側面) ①
- ・自ら差別の解決に向け、行動していこうとする意欲が高まったか。 (価値的・態度的側面) ②
- ・友達の意見に共感しながら、自分の思いや考えを伝えることができたか。 (技能的側面) ③